

令和 7 年 3 月 2 1 日

令和 6 年度 特別の教育課程の実施状況等について

沖縄県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
金武町立嘉芸小学校	金武町教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等	学校関係者評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等
金武町立 嘉芸小学校	金武町立嘉芸小学校ウェブサイト 令和 6 年度特別の教育課程の自己評価結果について http://kin-ed.sakura.ne.jp/kagei/kg_syokai/kg-english-01.html	金武町立嘉芸小学校ウェブサイト 令和 6 年度特別の教育課程の学校関係者評価結果について http://kin-ed.sakura.ne.jp/kagei/kg_syokai/kg-english-02.html

※ 8 月末までに上記 URL において公開

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

これからの時代において必須となるグローバルな視野を持った人材を育成するため、1～4 学年に「英語活動」を設置し、「外国語活動」と合わせて年間 34～50 時間を英語教育に充てる。

- ・ 小学校 1 学年において、音楽を 11 時間、図画工作を 11 時間、体育を 12 時間削減し、34 時間の「英語活動」を設置する。
- ・ 小学校 2 学年において、音楽を 10 時間、図画工作を 10 時間、体育を 15 時間削減し、35 時間の「英語活動」を設置する。
- ・ 小学校 3～4 学年において、総合的な学習の時間を 15 時間削減し、外国語活動と合わせて、3・4 年生で 50 時間の「英語活動」を設置する。

※教育課程全体は【別表 1】の教育課程編成表を参照

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

金武町は、明治・大正時代、當山久三翁に代表されるように、ハワイをはじめ北米・フィリピン・中南米への海外移民の先駆をなし、現在多くの方々が現地で活躍している。そのような歴史的背景から海外移住者子弟等の受け入れ事業、ハワイ州カポレイミドルスクール姉妹校交流事業、ハワイ短期留学派遣事業、海外ホームステイ派遣事業等の国際交流事業が行われてきた。

金武町は、リゾート施設・医療施設・リハビリ施設等の一体型施設が着実に建設され

ていくことから、英語を使える人材の育成が望まれている。よって、平成27年度以降、小中が連携した系統的・段階的な英語活動(英会話科)の推進で、本町の掲げる「国際性に富んだ人材育成」を図っている。

(3) 特例の適用開始日

平成27年4月1日

平成30年4月1日 変更

令和2年4月1日 変更

(4) 取組の期間

令和7年3月31日まで

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ☒ 計画通り実施できている
- ☐ 一部、計画通り実施できていない
- ☐ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ☒ 実施している
- ☐ 実施していない

<特記事項>

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

嘉芸小学校では「個性を尊重し、郷土の自然と文化に誇りをもち、自主性、創造性、国際性に富む人材の育成」を大きな柱とし、「進んで学ぶ子(知)」「心豊かな子(徳)」「たくましい子(体)」を教育目標に掲げている。また、国際理解教育の目標として、①広い視野で異文化に対する理解や異なった文化を持った人々と共に協調して生きていく態度を育てる、②世界に誇る郷土の文化に触れたり演じたりすることによってそのすばらしさを理解させ、同時

に世界中のどの国にも、特色ある文化があることに気づき、国際理解の基礎を培う、③国際理解において、相手の立場を尊重しつつ、自分の考え方や意思を表現できる基礎的な力を育成する観点から、外国語能力の基礎的な表現力などのコミュニケーション能力を図っていると掲げ、3つの目標を中心に、日常の英語活動に取り組んでいる。

児童アンケートを見ると、どの学年も友達と楽しみながら、英語活動を行っていることが伺える。「どんなことが楽しいか」の回答で、低学年ではゲームや歌・ダンスなどを通して楽しく学習しながら、新しい英語を覚えることを楽しみにしている。中学年においては低学年同様、ゲームや歌・ダンスなどを通して楽しく学習し、友達と英語を使って話すことも楽しみながら、活動的に英語活動をしている。全体を通して英語教育の重要性を理解し、形成的会話テストや英検ジュニアを毎年実施することで、授業で学習した英語を使う喜びを味わう児童も増えてきた。

しかし、英語を使って英語の先生に挨拶したり話しかけたりすることにはあまり積極的ではないことが今年度のアンケートから見て取れる。児童が英語を話すことを楽しめるよう、学級担任とALTとのチームティーチングを工夫し改善していきたい。

また、金武町には米軍基地があり、保護者にも基地従業員がおり、ネイティブスピーカーと会話がしたいと意欲的である。学校以外でも外国人と関わる機会が多く、近所にも外国人が住んでおり、身近に英語を必要と考える児童も多い。【別表2】

（2）学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本校は、学校経営の基本方針の取り組み事項の1つに、「国際理解教育・外国語教育の推進」を掲げており、英語活動を通して、各教科と関連づけながら体験的にコミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成することを目指している。例えば、国語のローマ字、算数の数や形・時計、理科の天気や動物・自然、社会の地図や国旗、図工の色、体育の動作やスポーツ名、教科名や教室名等、身近な事柄を英語の授業に取り入れることで、児童の興味や関心がわく。この観点から、金武町の英語教育課程特例校を実施することは、本校の教育目標の達成に資することができるものと考え、日々取り組んでいる。

英語活動の授業について、児童にアンケートを実施したところ、平成27年度から継続して英語活動に取り組んできた児童は、英語に対する意識において成果が上がっている。【別表2】

5. 課題の改善のための取組の方向性

4に示したことを踏まえて、成果・課題・今後の方向性を以下に記す。

（1）成果

- ・児童のほぼ9割が英語の授業を楽しんでいる。
- ・年度を追う毎に英語を使うことへの抵抗感が少なくなっている。

- ・保護者の英語教育に対する評価は高く、今後も取組を継続してほしいという意見が多い。
- ・外国語の互見授業を実施することができ、小学校と中学校の教諭及びALT・JTEがお互いの授業を見学することで理解を深めることができた。
- ・中学年の文化交流授業として、町内のALT・JTEの先生方が小学校に来て国際文化交流を実施した。インド、フィリピン、アメリカ、オーストラリアなどの文化を紹介してもらい、外国の知識を深めることができた。児童も事前に調べて質問するなど良い交流ができた。

（２）課題

- ・担任主導の授業法の推進
- ・チームティーチングの充実
- ・カリキュラムの見直し及び内容充実

（３）今後の取組の方向性

- ・互見授業を通じた授業改善
- ・スモールトークの充実
- ・担任とALT・JTEとの打合せ時間の確保
- ・外国人との交流の推進・内容充実

6. 資料

- （１）教育課程特例校に関する教育課程編成表 【別表１】
- （２）令和６年度教育課程特例校に関するアンケート（１年～４年）【別表２】
- （３）令和６年度教育課程特例校に関するアンケート（教師）【別表３】
- （４）令和６年度教育課程特例校に関するアンケート（保護者）【別表４】

【別表 1】 教育課程特例校に関する教育課程編成表

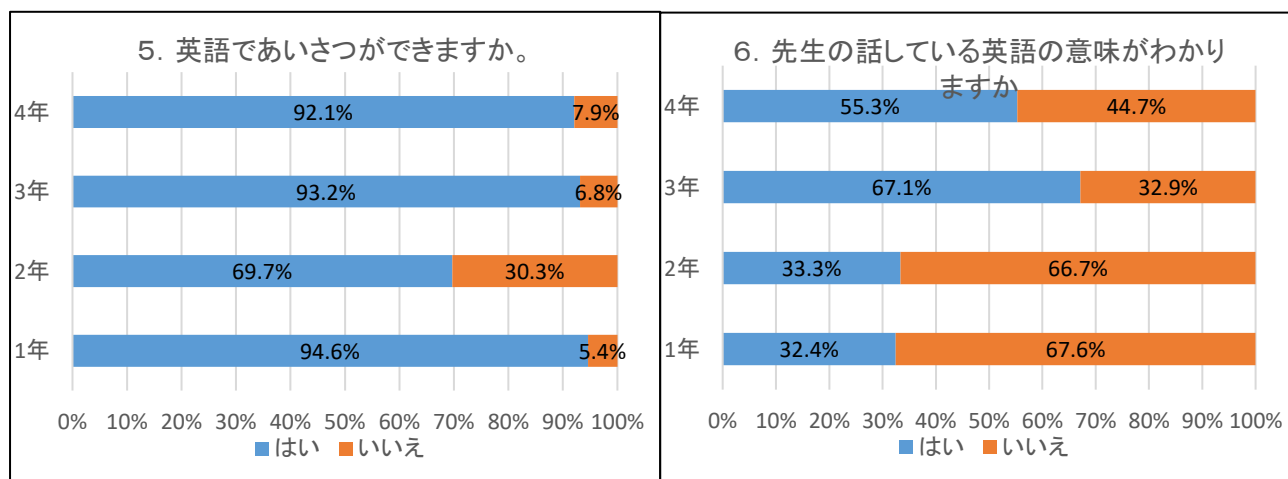
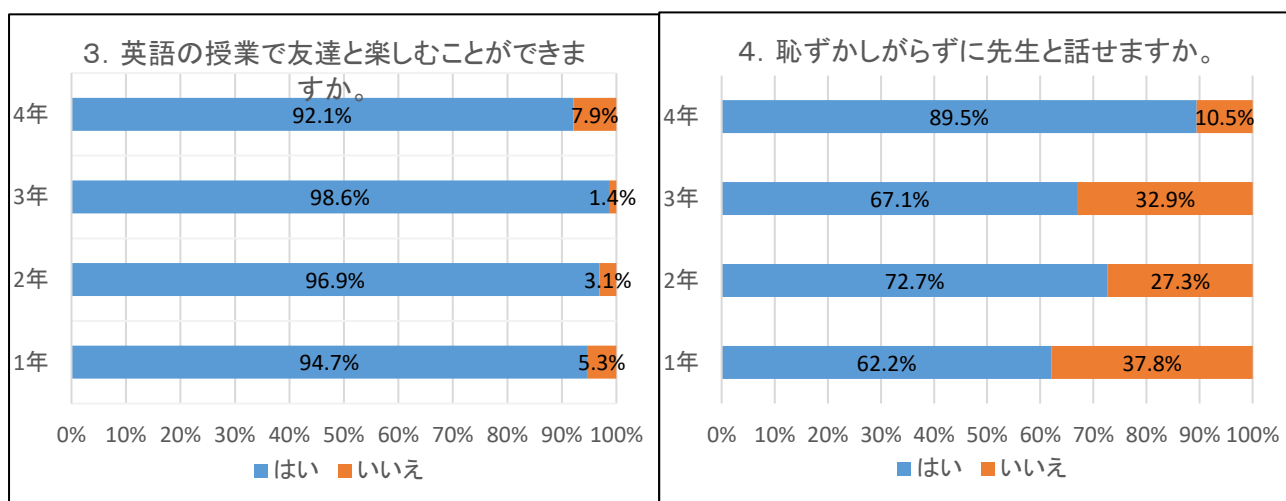
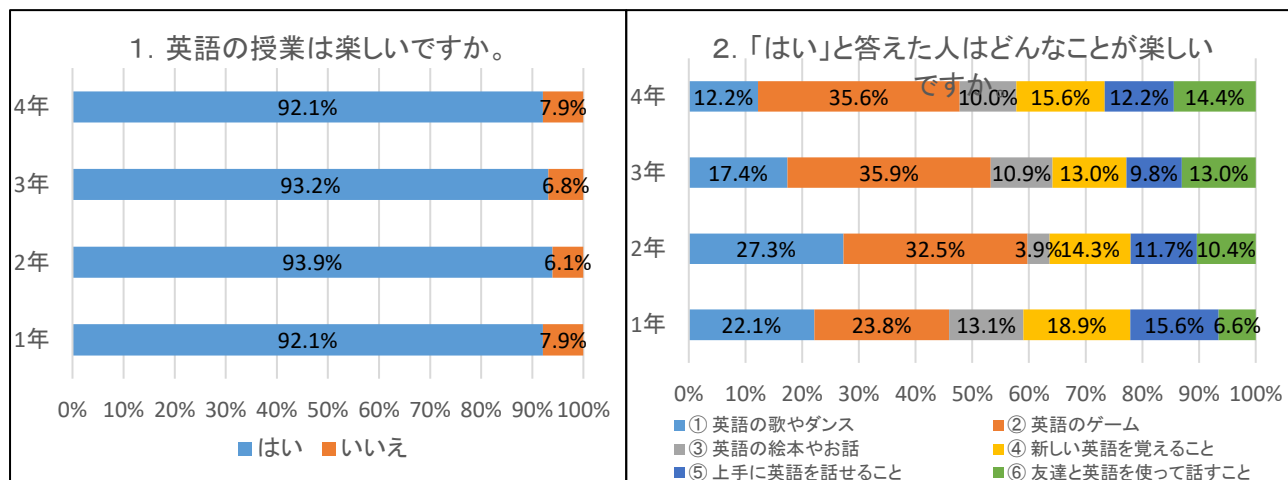
1. 金武町立全小学校

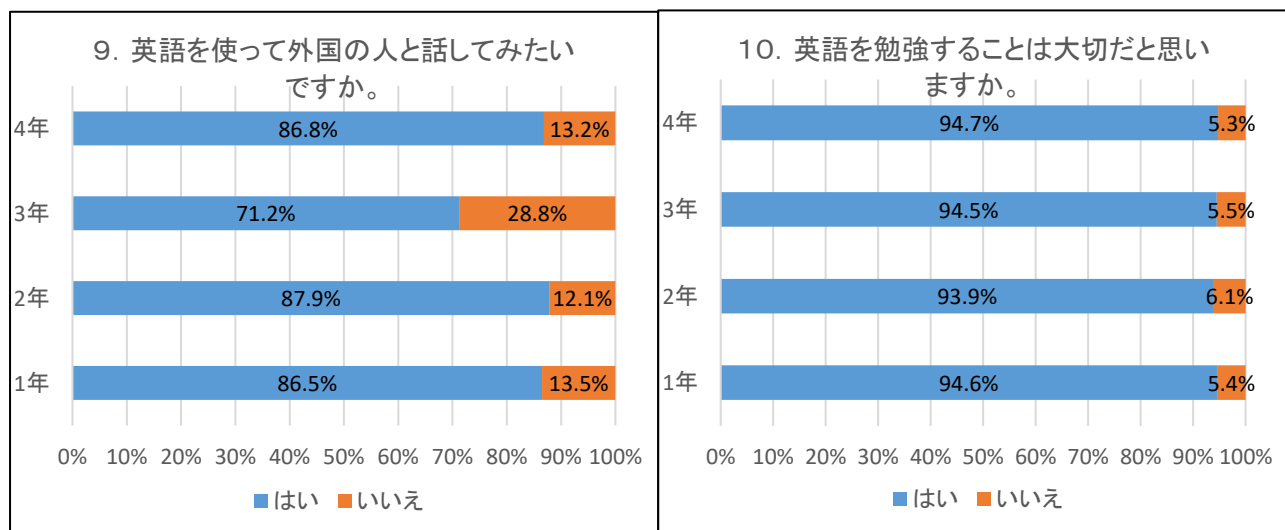
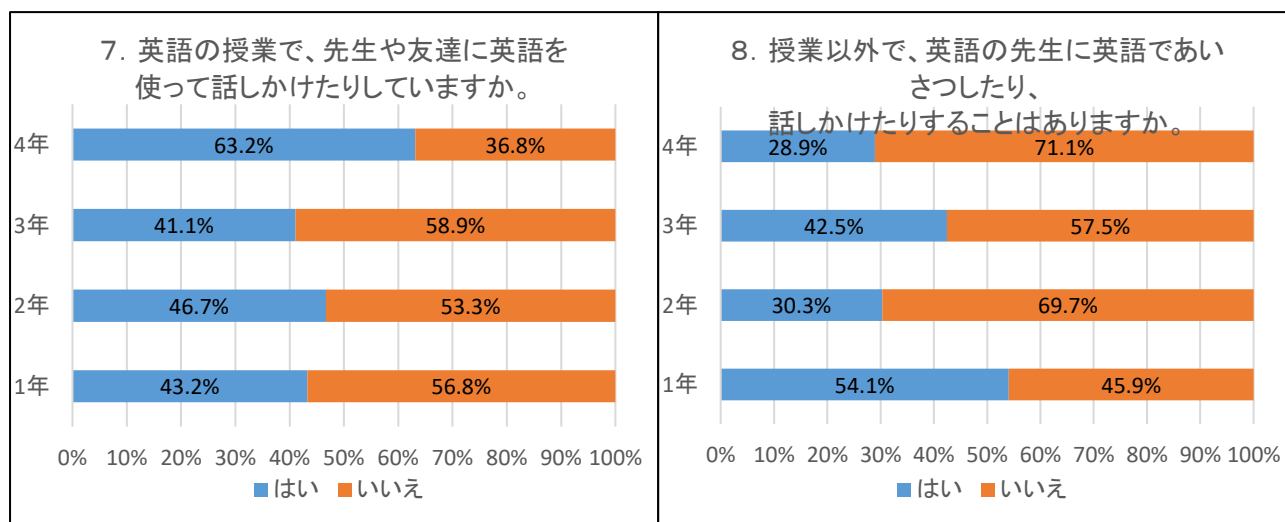
区 分	各 教 科 の 授 業 時 数									道徳の授業数	特別活動の授業時数	総合的な学習の時間 の授業数	外国語活動・外国語科 の授業時数	特例校（英語活動）の 授業時数	総授業数
	国 語	社 会	算 数	理 科	生 活	音 楽	図 画 工 作	家 庭	体 育						
第 1 学年	306		136		102	57 (-11)	57 (-11)		90 (-12)	34	34			34 (+34)	850
第 2 学年	315		175		105	60 (-10)	60 (-10)		90 (-15)	35	35			35 (+35)	910
第 3 学年	245	70	175	90		60	60		105	35	35	55 (-15)	35	15	980
第 4 学年	245	90	175	105		60	60		105	35	35	55 (-15)	35	15	1015
第 5 学年	175	100	175	105		50	50	60	90	35	35	70	70		1015
第 6 学年	175	105	175	105		50	50	55	90	35	35	70	70		1015
合 計	1461	365	1011	405	207	337 (-21)	337 (-21)	115	570 (-27)	209	209	250 (-30)	210	99	5785

※ 第 3 学年～第 4 学年においては、「総合的な学習の時間」 1 5 時間を削除する。

※ 標準授業時数と異なる授業時数を設定する教科等については、標準授業時数からの増減を（ ）で記入し、網掛けにて表記。

【別表 2】令和 6 年度 教育課程特例校に関するアンケート（嘉芸小 1 年～4 年）





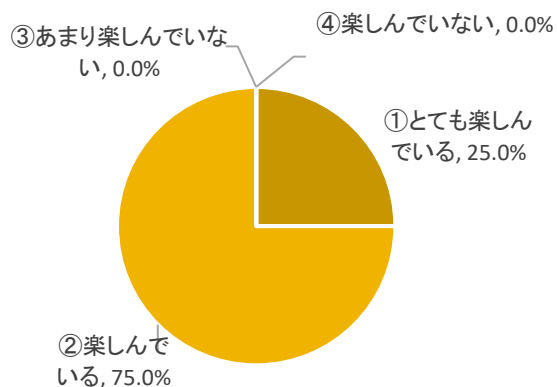
児童（１～４年）へ行ったアンケートには、下記のような感想がよせられた。（抜粋）

「英語を勉強することは大切だと思いますか。なぜそう思いますか。」の問いに対して	
<低学年>	
・	外国の人としゃべりたいから。
・	大人になったら使うかも知れない。
・	外国人に話しかけられたときのため。
・	転校生が英語のひとだったら英語の勉強していたら一緒に話ができる。
・	ファミマで外国人と話せるから。
・	英語を覚えたら外国の人とあそべておもしろいとおもいました。（２人）
・	せかいの人と話せるようになるから。
<中学年>	
・	みんなでえいごするのがたのしいから。

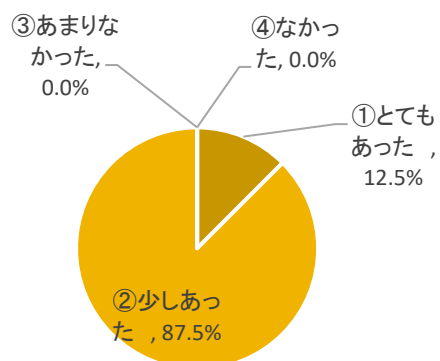
- ・もし外人さんが道に迷っていたら英語が話せなかったら外人の人も困る事もあったりするから外国語がひつようだと思います。小学生で自分たちのクラスに外人さんが来たら英語が話せたら仲良くなったりしたり英語の先生と一緒に英語で喋れるからです。
- ・外人が観光で道に困っていたら英語を使って話したり相手の言葉も理解できるから。
- ・将来英語を知っていたほうが役に立つと思っているから。

【別表 3】 令和 6 年度教育課程特例校に関するアンケート（嘉芸小教師）

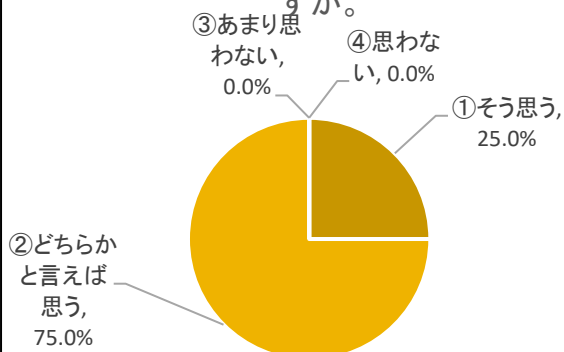
1. 児童は外国語活動を楽しんでいますか。



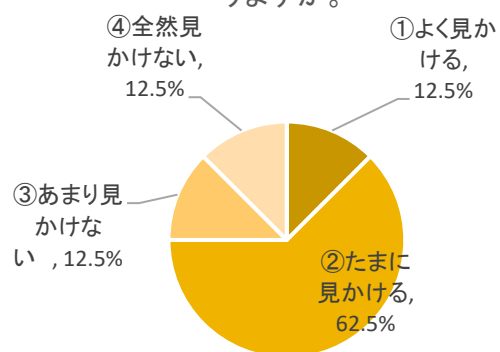
2. 外国語活動を行なう上で、児童に変化はありましたか。



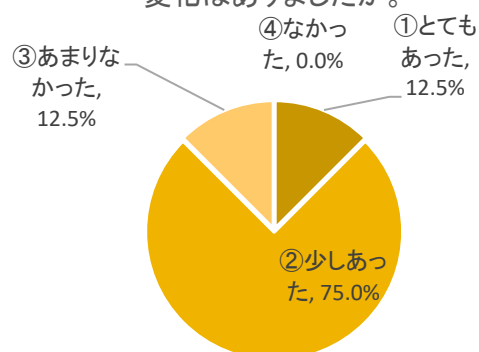
4. 1年生から外国語活動を行うことは、児童にとって良いことだと思いますか。



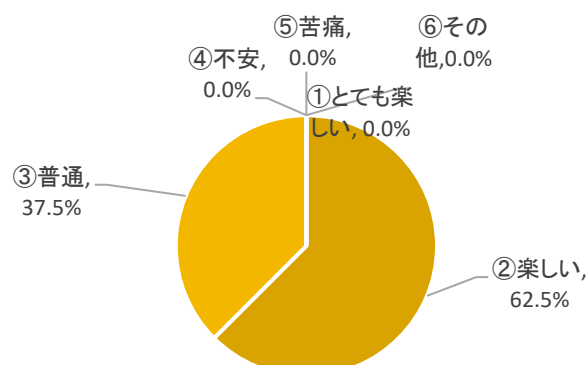
5. 外国語活動の授業以外で、児童が英語を使っているのを見かけたことはありますか。



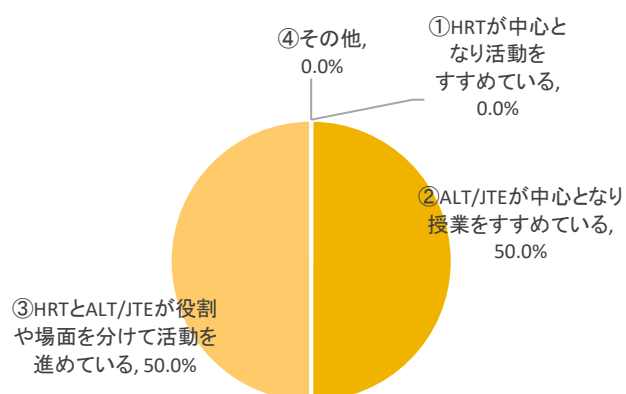
6. 外国語活動を行うことで、先生自身に
変化はありましたか。



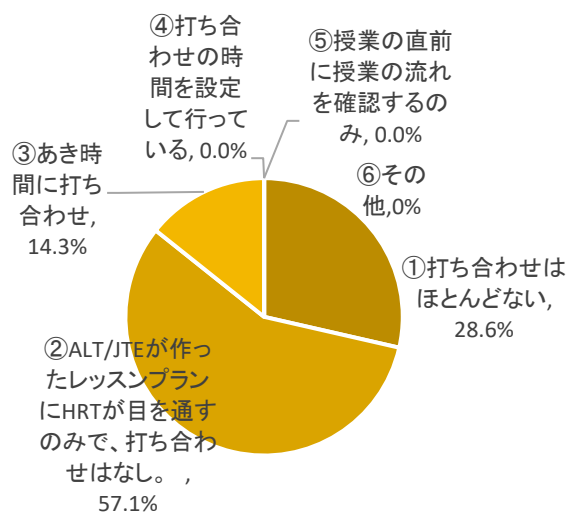
8. 外国語活動の授業を行うことを
どのように感じていますか。



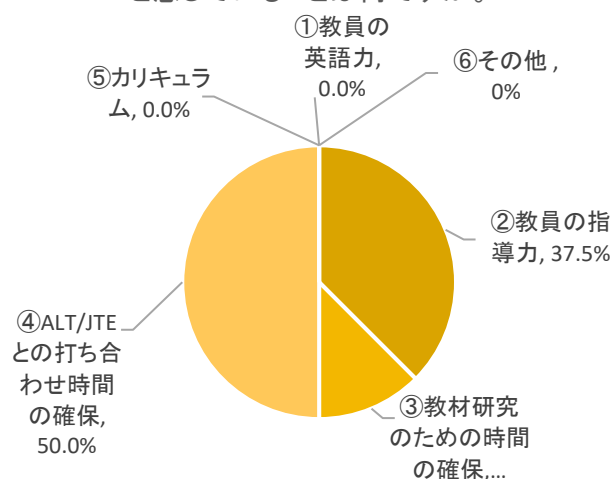
10. TTについて1番ちかいもの。



11. ALT・JTEとの打ち合わせについて。



12. 外国語活動を実施する上で課題だと
感じていることは何ですか。



教師へ行ったアンケートには、下記のような感想が寄せられた。（抜粋）

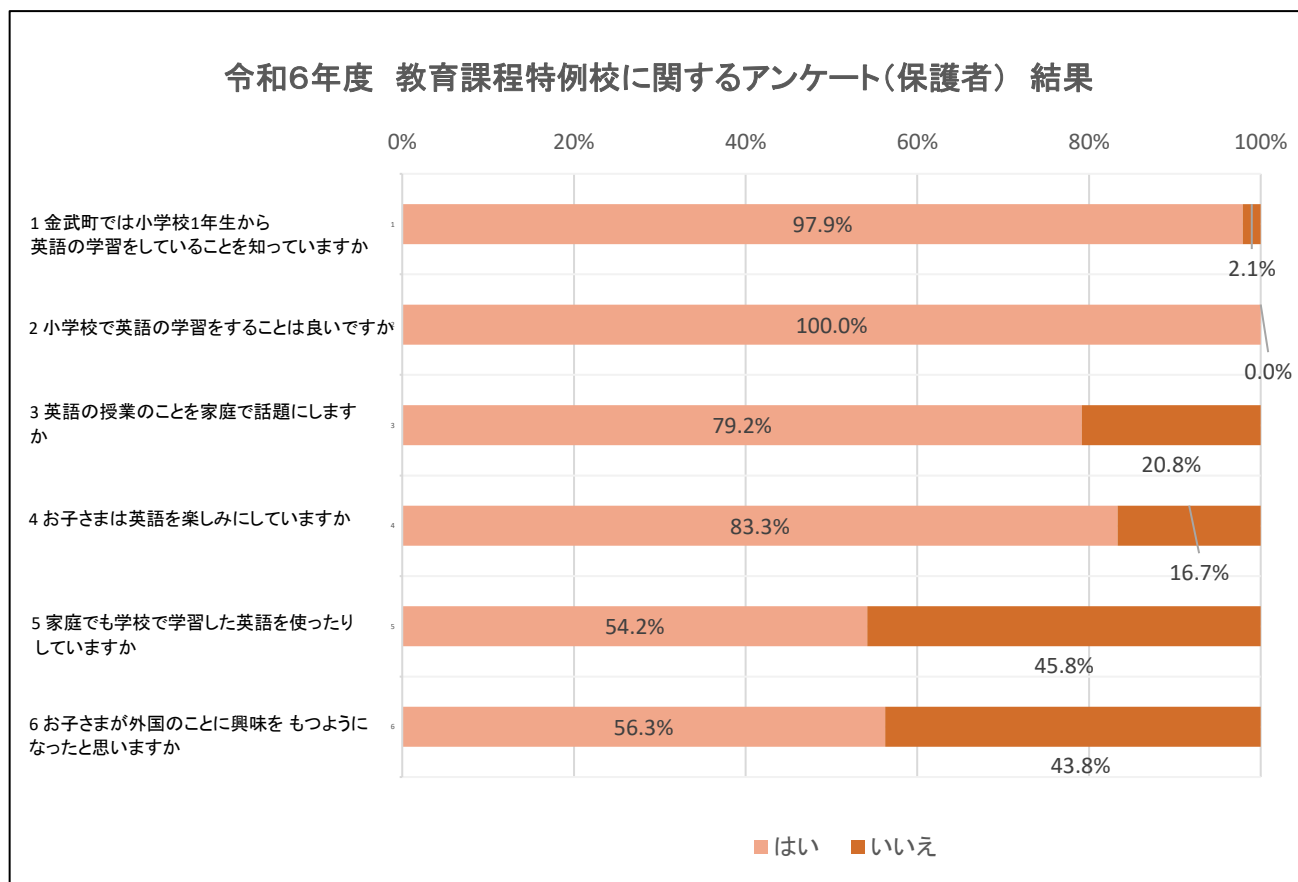
設問3. 児童に変化が「①とてもあった」「②少しあった」と答えた方、どのような変化があったか。

- ・主体的に学ぶようになってきた。
- ・英語の発音をよく聞くようになった。身の回りにある英語を読んだり、意味を調べたり、理解したりするようになった。
- ・外国語の授業以外でも英語を口にする児童がいる
- ・簡単な英語でのあいさつや、英単語が言えるようになってきた。
- ・教室の名前や文房具、天気等を英語以外の時間で使う声が聞こえる。
- ・とても授業を待ちわびていて、楽しそうにしている。
- ・クラスに外国籍の児童がいるため、親しみやすくなった。
- ・英語をクロームブックで調べていた。

設問7. 教師自身に変化が「①とてもあった」「②少しあった」と答えた方、どのような変化があったか。

- ・他教科では見ることのできない一面をみることができた。
- ・学級に外国籍の児童が在籍していても、抵抗することなく、積極的に英語でのコミュニケーションを試みるようになった。
- ・わたし自信も英語を学びたいと思った
- ・英語学習で、児童の気分をのせたり、どのような活動が興味関心をひけるのかなど、分かってきた気がします。
- ・授業の流れがわかってきた。
- ・英語で単語を何というかを調べるようになった。
- ・英語の会話に興味が出た。

【別表 4】令和6年度 教育課程特例校に関するアンケート（保護者）嘉芸小



保護者へ行ったアンケートには、下記のような感想が寄せられた。（抜粋）

- ・ 継続してもらいたいです。
- ・ 良い取り組みだと思います。続けてほしいです。
- ・ これからも英語教育に力をいれてほしい
- ・ 英語の授業はゲームなどをして楽しいと家でも話しています。